



見附市立見附小学校 学校だより

「自ら学び 進んで鍛え 共に伸びる見小の子」

みしよ

No. 351

令和6年7月23日（火）発行

〒954-0052

見附市学校町1丁目3番89号

Tel 0258 (62) 0141

<https://www.city.mitsuke.niigata.jp/site/misho/>



心理的に安全な居場所

校長 後藤 正美

ある学年の授業を参観した時のことです。

私が教室へ行くと、「校長先生、おはようございます。」と、子供たちが喜んで挨拶をしてくれ、張り切って学習へ向かう姿が見られます。担任の先生は、時折私を上手に利用して、子供たちを褒める機会につなげます。安心感のある教室の雰囲気、喜びを感じる瞬間です。

上越教育大学の赤坂真二教授の言葉を借りれば、

外部の人間に対する開放性は、心理的に安全なクラスによくみられる特徴

とのことです。つまり、誰が入ってきても明るく迎え入れられる学級は、心が健全で、学級内の人間関係や雰囲気も良好だということです。

また、「心理的安全性」という言葉があります。これは、ハーバード大学のエドモンドソン教授が1999年に提唱した心理学用語で、経営学の世界でこの概念が注目され、有名になった言葉です。心理的安全性の高い組織には、以下の3つのサインが見られるそうです。

- ① 困難な状況でも前向きに捉え、ポジティブな発言が交わされている。
- ② 成功以外の話も話題になる。
- ③ 笑いとユーモアで職場が明るい。

私自身も、そんな空気を感じられる職場をつくり、組織力を高めたいと目指しています。学級も同じだと思うのです。「やろうよ」という声が子供から聞かれる。挑戦が失敗だったとしても、達成感を感じ取っている。みんなで大笑いしながら活動している。そんな学級が、子供たちの居場所になっていくのだと思います。上の写真は、5000個の紙コップを用いて、学級で造形遊びをしている姿です。アイデアを出し合いながら形をつくる創造的な姿に、安心して学んでいる雰囲気が伝わってきました。

明日からは、いよいよ33日間の夏休みです。夏休みは自分磨きのチャンスです。子供たちが、ご家庭や地域においても安心して過ごせますよう、お力添えをお願いいたします。充実した夏休みとなることを願っております。